

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピーテラス東葛西教室		2025年2月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	指導員を加配している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3		・スケジュールの構造化について、文字が読めない子にも理解しやすいイラストがあると良い ・2階物件であり、建物の構造上、下肢に制限のある方の受け入れが難しい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		刺激に弱い児童もいるため、パーテーションで仕切れるところがあると尚良いと思う
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	職員全員で話しやすい環境になっているため、日々こどもの振り返りや話し合いを行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・定期的に面談を行っている ・ミーティングの機会が増え、机の配置が変わったことにより意見交換が増えたと感じる	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		現在は実施していないが、本部による定期評価は実施している
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	保護者との面談に管理者だけでなく、指導員も参加する機会を得たことで、意図が伝わりやすく共通理解を深める一助となっている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	年度計画を職員全員で立案しているが、活動日に通所すこどもによって柔軟に内容を変える等の対応をしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・その日の利用者に応じて体操メニューを組み替えている ・意見を出し合ってマンネリ化しないようにしている	マンネリ化しないよう工夫しているが、より豊かな内容になればもっと良いと思う
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日ミーティングを実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援時間の都合上当日の振り返りが難しい場合もあるが、遅くても翌日には共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	1	基本活動に漏れないよう、トレーニングに組み込む工夫をしているが、地域交流の場が少ないため、昼食やおやつなどの買い物の機会を設けている	業務に追われて認識せずに行っている事もあるため、意識を向けていく
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	一緒に課題の内容の確認や、目標を設定して共通認識を持つようにしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当者会議の場が少ないため、相談支援専門員に担当児童の様子を毎月モニタリング用紙を配布するようにしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	他機関との連携の場は少ないが、家族を通して卒業後の福祉サービスの確認や、そこで求められる作業練習をトレーニングに組み込んでいる	個人的には関わる事が出来ていないため、他職員に確認して行く
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	特別支援学校からのお便りを頂いたり、学校公開に参加する事もある	・通常級との連携がほとんどないが、必要に応じて学校公開などに参加して行きたい ・送迎がないため学校と関わる機会が少ないと感じる
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		関係性が乏しく、保護者からの聞き取りが多いのが現状
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・問合せがあれば対応している ・同法人内では実施している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		研修の案内は頂いているが、サービス提供時間内の開催が多く参加が難しい状況
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	・基本的には関りは少ないが、地域の公園等で関わる場合もある ・通所している事を知られたくない児童がいた場合は小集団にする事や職員との散歩に切り替える等柔軟に対応	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	法人代表のみ参加し、必要な情報を共有して頂いている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳を通して伝えている。保護者送迎時にはより細かく状況を共有	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		年度内に卒業後のサービスについての研修会を実施予定	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4		・現在は実施していないため、保護者へニーズ調査を行い必要に応じて対応していく ・要望があれば設ける事も必要かもしれないため、意向を確認した方が良い
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	見学などは随時受け入れているが、防犯の観点から子どもの利用時間については施設実施	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		医師の指示書の確認は出来ておらず、家庭からの連絡のみ
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2		・現在では該当ケースがないが、今後該当した場合はマニュアルに沿った対応を実施